

広報うちこ

あなたとまちをつなぐふさと情報誌

UCHIKO

友愛 誠実 努力

12

December 2019

vol.266



特集 ODA High School

守りたいのは、「ハコ」だけじゃない。



ぼくの夢 わたしの夢

白石 ^{りょうま} 稜真くん 内子小学校6年(内子17)

ゲームプログラマーになって、 楽しい作品をたくさん生み出したい

夢はゲームプログラマーです。きっかけは、町内で開かれた「MOCKUP ^{モックアップ} プログラミング教室」に参加したことです。パソコン一つあればモノづくりができることや、プログラミング言語の組み合わせ次第でいろいろなものが作れるところに、面白さと奥深さを感じました。自宅でも自分でゲームを作って、妹に遊んでもらいました。誰かに楽しんでもらうのがうれしくて、ゲームプログラマーになりたいと思うようになりました。まだ平面的な動きのゲームしか作れないので、もっと技術を学んで、いつか奥行きのある3Dゲームに挑戦したいです。

将来は、マリオで有名な任天堂でゲーム作りをしたいです。設計書の指示通りにプログラムするだけではつまらないので、提案もできるプログラマーになって、たくさんの人に楽しんでもらえるゲームを生み出したいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.266 広報うちこ 2019年12月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 守りたいのは、「ハコ」だけじゃない。
- 16 まちのニュース 三浦雄一郎講演会／内子座特別講演「光垂れーる」 他
- 18 うちこ往来 内子座ジャズコンサート／高畑誠一特別企画展 他
- 20 うちこ「わ」まつりフォトリポート
- 22 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 26 図書館へ行こう
- 27 ゆうていあ Vol.224
- 28 町からのお知らせ 年末年始の業務のお知らせ／令和2年度園児募集 他
- 32 暮らしの情報 障がい者芸術文化祭／いかざき冬花火／いちげ温泉展 他
- 34 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 36 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎高校生の有志が描いた黒板アートです。完成した絵の前で応援に来てくれた先生や地域の人たちと撮った写真です。

無料アプリ「カタログポケット」と内子町公式インスタグラム「うちこト」で、制作中の動画が見られます。



カタログポケット

無料 FREE

このアイコンが
目印。



プロローグ

「黒板に刻んだ母校の思い出」

小田燈籠まつりや高校野球の応援団、
特産の小田うどんと銘菓ゆずっこ、
獅子舞、剣道部の雄姿――

教室の黒板を使い、5日間もかけて
生徒たちが描いた小田高校と小田の思い出です。
黒板アートは時間をかけて描いた作品が、
消されてしまう儚さがあります。
でも、自分が描いたものや描いていた時間は、
生徒たちの心にいつまでも残るはず。

今年5月、小田高校の分校化が決まりました。
来年4月には内子高校の分校になります。
分校になると多くのことが変わります。
名前はもちろん、校章、校訓、
新入生の制服も変わります。
校長先生はいなくなり、
教頭先生が分校長として勤務します。
でも、校舎と校歌は変わりません。
長い年月をかけて築いてきた
小田高の歴史や誇り、
地域の人々とのつながりも――

小田高校の名前がなくなっても、
ここでの思い出や地域への思いは消えない。
生徒たちの黒板アートには、
そんな願いも込められています。



守りたいのは、 「ハコ」だけじゃない。

この校舎には、
たくさんの「コト」が
詰まっているんだ――

学校という「ハコ」を残すだけでは、地域の未来にはつながりません。
大切なのは、生徒たちの学びが充実すること。
それを実現できる小田地域であるということ――
守るのは学校だけではなく、子どもたちの笑顔と未来、
そして小田高校と地域の人たちとの「つながり」ではないでしょうか。
分校化という地域の現実を突きつけられた今だからこそ、
地域とともにある学校の意義について一緒に考えてみませんか。



1_「オダカン」のコンテスト。全てのグループが発表し、本戦に出場するグループを決める 2_ 魅力化の取り組みの一つ「ふるさと講師縁」。小田出身の映画監督・富永昌敬さんと台本づくりに挑戦 3_ 生徒が全員参加する「オダカン」の会場の様子 4_ 町職員のガイドで小田深山を散策したフィールドワーク 5_ タブレットや遠隔授業などのICTを活用 6_ バイオマス発電所など地元企業を訪れて学ぶ



小田高等学校教頭
菊池 博喜さん

Interview

全校体制で起業家教育に協力

2年前に小田高校に来て、初めて「オダカン」を見たとき、これは面白いと直感しました。国や県が求めている新しい時代の教育に合致するし、生徒たちの学びに向かう姿勢と成長する姿を見て大きな可能性を感じたからです。

講師選定に頭を抱える学校が多い中、小田高に協力してくれる講師はどんどん増えています。今居先生の情熱と人間性もありますが、それを支える周りの先生

たち、全校体制の協力があるからできていることだと思います。講師の皆さんの多くに「また来たい」と感じさせる生徒たちも素晴らしいと思います。

本校は重点努力目標の中に「地域社会を担うグローバル人材の育成」をうたっています。「最先端」は言い過ぎかもしれませんが、今求められている確かな学力の育成に向け、しっかりと取り組んでいることを多くの人に知ってほしいです。

～高校魅力化への挑戦～

地域の灯を消さないために

ここ数年、分校化の危機に直面していた小田高校。生徒たちの学びを充実させることが高校の魅力化につながると、地域に開かれた特色ある学校づくりを始めます。その一つが「小田高版・起業家教育プログラム（以下、起業家教育）」です。新しい時代で活躍するために必要な能力を育む授業は、高校と地域の未来を照らす光となっています。

シリコンバレーが開いた扉

「小さな学校でも、面白い学びができることを内外に発信したい」と話すのは今居弘幸先生。平成29年4月に設置された魅力化推進室の室長です。同室の主な役割は学校と地域の窓口。学校と地域、行政などをつなげる企画を立案し実行します。

設置のきっかけは、世界的企業が集まるアメリカ・シリコンバレーとの遠隔授業。小田地域出身の神岡美咲さんが発案し、NPO法人シリコンバレージャパンユニバーシティの榎本博之学長などの協力で実現した授業です。世界とつながる機会が生徒の視野だけでなく、大人たちの希望も広げました。それから高校魅力化の柱となる推進室が設置され、起業家教育の取り組みが始まります。

目指せグローバル（※）な人材

起業家教育は、起業家を育成するためだけの教育ではありません。チャレンジ精神や探求心、情報を集め分析する能力、判断力と実行力、コミュニケーション能力など、起業家に必要な資質や新しい時代でも活躍で



「オダカン」で発表する生徒

きる能力を身に付けることを目指します。

林業現場やバイオマス発電所を訪れて地域の現状や課題を学ぶ「フィールドワーク」や、シリコンバレーの榎本さんをはじめ、世界を知る大人たちの話を聞く「特別講座」、ひとつのテーマについて全校生徒で会議する「オダカン」など、地域と世界を舞台に可能性を広げる授業は、小田高校の魅力の一つになりました。

見えてきた光

特筆すべきは「オダカン」の取り組み。各学年が協力して会議を進め、アイデアを実行計画にして発表するコンテストです。堂々としたプレゼンテーションに、大人たちが目を見張ります。「競争」しなくても「共創」すれば、いいものが作れる――。田舎の小さな高校だからこそできる面白い学びは、学校と地域の未来に希望を与えています。

Interview

地域の人たちに育ててもらえる小田高生

小田高校の魅力化の取り組みは、地域からの提案で始まりました。小田は土地柄も人柄もいいので、地域と結びつくことが最大の魅力になると考えています。地域の人々も積極的に協力してくれます。起業家教育などで年間40～50人の外部講師が来ていますが、多くの人が無償で授業を引き受けてくれます。「人づくりに関わることは町の未来への投資だから」と言ってくれる人もいまし

た。生徒たちに「帰ってきて」というのは簡単ですが、生徒たちが「帰ってきたい」という思いを醸成できるのは貴重な機会です。改めて小田高生は地域の人たちに育ててもらっていると思いました。

地域と思いを共有して手を取り合えば、学校の先生が変わっても起業家教育は続けられます。生徒たちの姿を見て、地域の皆さんにずっと残してほしいと思ってもらえる高校でありたいです。



小田高等学校魅力化推進室長
今居 弘幸さん

（※）地域の「ローカル」と世界の「グローバル」を組み合わせた造語
「グローバル人材」は世界的な視点で地域社会に貢献する人材

結果は分校化、でも—— 僕らは3年間向き合った

学校教育も部活動も、分校化も—— 結果だけが全てではない。学校存続と向き合って3年目。3年生になった生徒たちの言葉は、これまでの取り組みが間違いでなかったこと、起業家教育プログラムの魅力と可能性を教えてください。

考え続ける生徒たち

地域に高校がなくなる。本来なら大人が背負う課題に、生徒たちも一緒に向き合っています。「学校や地域のために、私たちは何ができるか」と、ことあるごとに口にして頑張ってきました。9月に三崎高校で行われた、各学校の地域課題を議論する「せんたんミイティング」では、参加した7校のうち、学校の存続を議題に挙げたのは小田高生だけだったそうです。その課題を「自分たちごと」と捉え、分校化が決まった今でも生徒たちは考え続けています。

生徒の成長を感じて

「もっと早く高校魅力化の取り組みが始まっていたら、結果は変わっていたかも」と悔やむ小田高の先生たち。地域の大きな課題に正面から向き合う生徒たちを見守り、その成長を感じています。石崎一水校長は「分校化は残念だけど、過程の取り組みには大きな成果があった。生徒たちは人とのつながりや感謝の心など、都会では薄れつつある価値が小田にあることを学び、成長している」と目を細めて話しました。



坂本 柚奈さん

大嫌いが大好きに——
私を変えた出会いに感謝

田舎が嫌で、ずっと都会へ行きたいと思っていました。部活動の剣道では、中学まで一緒に頑張った子たちが別の高校に行ってしまいました。小田高に入ったことを後悔した時期もあります。そんな私を変えてくれたのは、熱心な先生たちの姿です。縛り付けるのではなく、一人一人の個性を大切に伸ばしてくれます。起業家教育の活動でも個性が大切で、個性があるからこそ、いろいろな案が生まれることを学びました。私は2年生の頃から起業家教育に積極的に参加するようになり、そのような活動が好きだと気付きました。地域を元気にするためのプレゼンテーションやふるさとCMを作りながら、小田のいいところや人々の温かさに触れ、いつしか小田と小田高校が大好きな場所になりました。

将来は内子町に残って、地域のために何かしたいという気持ちが強くなっています。たくさんのお会いをくれた先生たちに感謝の気持ちでいっぱいです。



関本 克馬さん

仲間と支え合った3年間。
小田高に来て本当に良かった

小田高校を選んだのは、中学生の頃は人気があって、学校へ行けないことがあったからです。生徒数が少なくて寮もあり、遠くからでも通えることが主な理由でした。でも今は、この学校に来てよかったと思っています。最初は町外出身の自分を受け入れてもらえるか心配していましたが、杞憂に終わりました。みんな優しく、すぐに友達ができました。授業もICTを活用したものが多く、寮ではみんなで勉強するので成績が上がりました。想像以上に充実しています。

起業家教育や生徒会でたくさんの経験を積むことができました。以前は多くの人といることが嫌だったのですが、今は違います。小田高のみんなは、困っている人がいたら一人にはしません。苦しいときにみんなが助けてくれるのがいいところだと思います。周りに人がいることを楽しめるようになった小田高校に感謝しています。もうすぐ卒業と思うと本当に寂しいです。



船本 優依さん

高校存続は地域のカギ——
一人でもできることを考える

小田がすごく好きで、ずっとこのままであってほしいと願っています。そのためには小田高校の存続は欠かせないものでした。分校化が決まり、地域を守れないかもという焦りと不安を感じます。自分一人でも何かできることはないかと考え、最近は放課後の学校に残って平成17年度以降の旧小田町のことを調べています。もっと小田地域や小田高校を知ってもらうために、ウィキペディアのページを更新したいからです。

起業家教育の授業はすごいです。地域の皆さんが協力して、私たちの考える力や話す力を引き出してくれます。活躍する人々の仕事や考え方、地域への思いが直接聞ける特別な授業です。ほかの学校ではできない経験で、自分の向上心に火が付きしました。一緒に頑張ってきた後輩たちにも、あきらめないでと伝えたいです。魅力化の取り組みを楽しんで、いっぱい学んで、自分たちができることを少しでもいいから続けてほしいです。



永居 泰成さん

地域の灯を消さないために、
人の心を動かす仕事をしたい

1年生の時に先輩たちのビジネスプランの発表を聞いて、もっと面白いことを考えたいと興味を持ちました。3年間、起業家教育の授業を受け、実践的な学びの場だったと感じています。企画を実現するためには費用がいるし、人を集めるのも大変です。実際に仕事や町おこしをしている人の話を聞いて、課題の解決方法を考えることは、本当に貴重な体験でした。また、多くの人と関わることで、小田高校が地域の人々に支えられていることを実感しました。授業も部活動も、地域の皆さんの協力で充実しています。だから、地域の火を灯し続けるのが僕らの役割と思うようになりました。

「絶対に無理と思うことも、人の心を動かすことができるたら実現できる」。起業家教育で心に残っている言葉です。自分たちのビジネスプランも実現できるかもしれないと、希望を持つことができました。将来、地域の活性化につながる仕事に就いて、人の心を動かすような企画に挑戦したいです。

親身な先生

近くに塾がないなら、自分たちが力になりたい。親身な先生たちが生徒の学びを豊かにします。



観客が風を感じる 伝統の集団行動

自分だけが完璧な動きをしても、きれいな集団行動はできません。周りを見て、声を掛け合い、息を合わせることが大切。みんなで作る「最高」の集団行動が、人々に爽やかな風を送ります。



みんなが主役の 体育祭・文化祭

体育祭では、前の競技で顔が白くなり、それを落とす間もなく次の競技へ——。人数が少ないから大変ですが、それだけ役割と活躍の場、思い出がたくさんあります。

魅力化だけじゃない、小田高校の魅力

分校になっても、 きっと変わらない。

地域との交流

授業や祭りで地域の人々と交流する機会が多い小田高生。地域の人たちも温かく活動を見守ってくれます。



野球部最後の夏 全員・全力の応援が 選手の胸を熱くする

少人数でも応援では負けない。一人一人の思いが選手を後押しします。頑張る人はみんなで応援する。困っている人はみんなで助ける。その優しさは分校になっても、きっと変わりません。

Interview



山田 伊織さん(3年)

小田高校野球部、最後の夏——

小田高校の団結力に感動

小田高校の魅力は、他の学校の手本になるような団結力です。伝統ある集団行動は県内でも有名です。きびきびした行動や気持ちのいいあいさつは、集団行動で培っています。分校になっても、今まで先輩たちが築いてきた伝統を守りたいし、後輩たちにも受け継いでほしいです。

部活動の野球では、チームだけでなく学校全体の団結力を感じました。一番感

動したのが、夏の大会の小田高生の応援でした。相手高校に比べると人数は半分以下なのに、聞こえてくるのは倍以上の声——。心が一つにそろった声だったので、勇気と感謝の気持ちが込み上げてきました。地域の人たちも熱心で、幸せな環境で大好きな野球に打ち込みました。「小田高校野球部」としては最後の夏になってしまったけれど、悔いなく迎えられたことに感謝しています。

小田高校で初めての快挙

先生との二人三脚だから頑張れた

県の商業高等学校英語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞し、1月12日に全国大会に出場することが決まりました。地元の人たちが「小田高校ってすごいね」と言ってくれて、うれしいです。受賞は親身に教えてくれる先生たちのおかげです。忙しい中、放課後も昼休みも時間を割いて指導してくれました。全国での入賞は難しいですがベストを尽くします。

小田高校のいいところは、先生と生徒の距離が近いことです。一人一人の個性を把握し、的確なアドバイスをくれます。熱心な先生ばかりで、進学を希望する生徒には徹底的に試験対策に付き合ってくれます。その姿からもたくさんのことを学び、ここで過ごせたこと自体が価値のあることと気付きました。大学に行っても一生懸命頑張っ、先生たちの思いに応えたいです。

Interview



大森 美里さん(3年)



旅するおむすび屋
菅本 香菜さん

小田高校の温かさに感動 すてきな出会いに感謝

武田さんとの縁で愛媛県での活動が始まり、そこで今居先生と出会い、小田高校での授業が実現しました。先生の「3年間、起業家教育プログラムを頑張った生徒たちへのご褒美にしたい」というすてきな思いを受け取り、楽しい授業になるよう頑張りました。

小田高校のみんなが素直で明るくて、びっくりしました。おむすびを提供する時間になると、授業のない先生が集まって、一緒におむすびをむすんでくれて、小さな学校だから築ける温かい空間なのかなと感動しました。

私は「おむすび」という、誰にとっても身近な食べ物を真ん中に、改めて自分の町を誇りに思ったり、いろんな世代の人がつながったり、食の大切さに気付いてもらったりしたら、という思いで活動しています。今回もいろんな縁がつながりました。ここからまたどんな風に縁がつながっていくか楽しみだし、みんなにも大切に育ててもらえたらうれしいです。



小田獅子舞保存会会長
富永 吉宏さん

伝えたいのは祭りの楽しさ そして、地域への思い——

小田獅子舞保存会で高校生に獅子舞と太鼓を教えています。町外から来た1年生も参加するので、地域の人との交流の場にもなっています。祭り当日や文化祭などで生徒が舞うときは、みんなで見に行きます。獅子舞をやってくれた子は、やはりかわいいもんです。

獅子舞は踊りを継承するだけでなく、思いもつなぎます。先輩たちに教わることで、地元のことや世代間の関わりなど、いろんなことをひっくりくめた「思い」が伝わります。その思いさえ継承できたら、カタチは変わってもいいのかもしれない。

学校存続の課題も根っこは同じ。思いをつなぐために、諦めないことが大切です。それを教えてくれたのは小田高校の生徒たちです。大切なことをきちんと教えてもらい、地域での活動も一生懸命。私もまだまだ頑張ろうという気持ちになります。青春真っ盛りの純粋な気持ちで、この地域の素晴らしさを体感してほしいです。私たちもずっとそのお手伝いをしたいと思います。



地域おこし協力隊
武田 惇奨さん

小田高での学びを忘れず 自分の未来を開いてほしい

起業家教育に地域おこし協力隊として参加し、生徒たちにビジネスのアドバイスなどをしました。僕を含め、いろんな種類の大人が生徒たちとつながることが、この授業の面白いところ。先生や親が歩んできた道以外の社会に触れることで、新しいことに挑戦する力が湧いてくると思います。

僕の高校生時代は、悪いイメージが先立ち、挑戦を諦めることが多かったように思えます。「無理」と思ったらそこから前には進めません。「失敗してもいいから、無理と言わずにやってみることが大切」と大学生時代に経験しました。

生徒のみんなは起業家教育でたくさんの壁にぶつかったと思います。そこで無理という言葉を読み込んで、仲間と一緒に解決策を考える——そんな勉強ができるのは本当にうらやましいことだと思います。社会に出ても小田高校で経験したことを忘れず、自分を諦めないで、たくさんの道を切り開いてほしいです。



11月5日、3年生の起業家教育の最後の授業。今居先生が用意したのは「おむすび」の授業でした。講師は、「旅するおむすび屋」になる夢を、クラウドファンディングでかなえた菅本香奈さん。おむすび仲間を募って全国各地を旅しています。今居先生は「この授業は本来なら、なかった授業。クラウドファンディングを学びたいという生徒がいて、同じタイミングで協力隊の武田さんから菅本さんを紹介してもらった。最後に生徒と地域の人とが結んだ、特別な授業ができてうれしい」と明かします。

ある生徒が「出会いが大事」
は今居先生の好きな言葉。私たちにそれを実感させてくれて、たくさんの人となつなげてくれる」と話してくれました。
人口が少なくても「人交」が多ければ、生徒たちの豊かな学びにつながります。地域に根差して活躍する人、広い世界に羽ばたいて地域に思いをはせる人、夢をかなえた人、さまざまな人と出会うことで、生徒たちは多くの選択肢を見つけ、自分や地域の未来を主体的に考えるようになったと言います。この小田高校の生徒たちを大きく成長させ、広い世界に羽ばたかせたい——。そう願う人たちがここにつながっています。

お結び。 人と人との つながりを結ぶ場所

年間40〜50人もの外部講師が授業をする小田高校。その出会いが生徒たちに新しい扉があることを教えてくれます。講師をした皆さんにお話を聞きました。



先生、地域の皆さん、
いつも見守ってくれてありがとう。
志を果たしに、いつの日にか戻ってきたい



小田高生のみんな、
ここで学んだことに自信を持って、
しっかりと人生を歩んでほしい——

守りたいのは、 「ココ」にある笑顔と未来。

— Special Feature ODA High School —

16／18歳という多感な時期に、教科書だけでなく地域に向き合ってもらえることは、地域にとっては本当に幸せなことです。生徒たちが「帰ってきたい」と思える時間を、地域の人々と過ごすことができること。その時間が長ければ長いほど、地域の未来の力になるはずです。

最後に魅力化推進室長の今居先生は言います。「君たちの学びは面白い。それは分校になっても変わらない。ここで学んだことや人々のつながりを大切にしてい、この先にある最高の人生に出会ってほしい」と。

小田から出ていく子も小田の子。小田に来てくれる子も小田の子。寮生でもお客さん扱いじゃなく、地域の子として扱ってくれる。そんな土地柄と人柄のよさが、生徒のすてきな笑顔を引き出します。たくさん笑顔と思いつく、学びと伝統、生徒と地域の未来。たくさんのコトが詰まった小田高校を、いつまでも大切に思っていてほしい——

小田川の河川敷を自慢の愛車で疾走する選手の皆さん



オフロードで行う自転車競技「第7回小田川シクロクロスinうちこ大会」が10月27日、豊秋河原で開かれました。年齢別や熟練度別の7つの部門、チームで参加できる耐久レースに延べ215人が参加し、熱戦を繰り広げました。

お知らせ

シクロクロス全日本選手権大会

●日時 12月7日(土)・8日(日)

▷7日 午前10時～

▷8日 午前8時30分～

●場所 豊秋河原

【問い合わせ】

建設デザイン課 管理係

☎0893(44)6157

最高峰の選手が集う

河川敷を駆け抜ける風になれ——
「小田川シクロクロスinうちこ大会」

「内子町のいのちの授業」が11月15日、内子中学校で行われました。3年生79人が参加し、有志の母親と赤ちゃん24組と交流を楽しみました。

生徒たちは母親たちに子育ての話を聞いたり、赤ちゃんを抱っこしたりして、小さな命の尊さや

赤ちゃんから学ぶ、命の尊さ
内子中で「内子町のいのちの授業」

戸惑いながらも、赤ちゃんとの触れ合いを楽しむ生徒たち



上_素晴らしい演奏を聞かせてくれた児童たち 下_稲本隆壽町長から上杉夫妻に感謝状が手渡された

町内の小・中学生が合唱や演奏を披露する「第15回内子町音楽発表会」に合せて「上杉誠一氏感謝状贈呈式」が11月6日、文化交流センタースバルで行われました。

上杉さんは「心に届いた演奏をいつまでも忘れない。成果が発揮できるよう、思う存分練習してほしい。皆さんの演奏する姿や笑顔を見ることを楽しみにしている」とエールを送りました。

楽器や図書を寄付した上杉夫妻へ
感謝の思いが伝わる「音楽発表会」上_「90歳でモンブランに登る」と語る三浦さん
下_講演後、城本さん(左)と固い握手を交わした

内子町文化交流センタースバルの開館20周年を記念した「三浦雄一郎講演会」が10月26日、同館で行われました。三浦雄一郎さんは世界的に有名な冒険家で、80歳でエベレスト登頂に成功するなどさまざまな世界記録を樹立しています。

三浦さんは引退後の苦難、復活までのトレーニングの話などを交えながら、「夢や希望を持つと不思議な力が出る。エベレストに登る方法は、小さな一歩を繰り返すだけ。あきらめなければ夢はかなう」と、約550人の観客に力強いメッセージを送りました。

スバル20周年の新たな輝き——
冒険家・三浦雄一郎さんの講演会アーティスト・イン・レジデンス
滞在型創作活動で輝いた舞台
内子座特別公演「光垂れ〜る」

劇団オーガンスとぼこクラブによる内子座特別公演「光垂れ〜る」が11月10日、内子座で開かれました。ぼこクラブの5人は約1カ月間、内子町に滞在。ワークショップによる出演者選出をはじめ、脚本や舞台演出など、一から舞台演出を創りました。

公演は町内業者の協力で作られた舞台装置、迫力あるダンス、生と死の意味を問う深い物語など、見どころが満載。感動の舞台に、来場した550人の観客から大きな拍手が送られました。

1_格好いい音楽とダンスが観客を魅了 2_公演前にも楽しい芝居前説で会場を盛り上げる 3_懐かしいドラマを連想させるシーンで会場の笑いを誘う 4_圧巻のクライマックス 5_公演後のトークショーで1カ月の苦労などが語られた





力強い演奏で内子町の飛躍を後押し

新内子町から真の内子町へ—— ジャズで祝う合併 15 周年

内子町合併 15 周年を記念した「内子座ジャズコンサート」(同実行委員会主催)が 11 月 17 日、内子座で開かれました。発起人は旧 3 町の元町長の皆さんで、元内子町長の河内紘一さんが「ジャズのリズムに乗って、内子町がますます良い町になってほしい」とあいさつ。創部 50 年以上の歴史を持つ早稲田大学ニューオルリンズジャズクラブが、力強い音色を内子座に響かせました。



大人相手に果敢に攻める子どもたち

体育館に響く笑い声は御祓の元気 アットホームなフットサルイベント

「^{みそぎ}MISOGIフットサル」が 11 月 17 日、旧御祓小学校体育館で開かれました。御祓地区を盛り上げようと、町内外から 8 チーム 65 人が参加。みんなで楽しむことをモットーに、大人と子どもが一緒になって汗をかいていました。今回は「みそぎの里」も協力し、カレーバイキングなどを提供したほか、優勝賞品を棚田米 30^{キロ}にするなど、御祓地区の魅力を存分に味わえる大会でした。



次々と生まれるバルーンアートに大喜び

青空の広がる内子東自治センターで 食欲の秋と文化の秋と一緒に堪能

「内子東自治センターまつり」が 11 月 17 日、同自治センターで開かれました。管内の 6 自治会がうどんや焼きそば、地域の野菜などを販売したほか、屋内では文化作品が展示されました。初参加の「トム 3 & キャサリン」はジャグリングとバルーンアートを披露し、会場を沸かせました。同自治センター長の藤岡伸一さんは「秋晴れの最高な 1 日。例年以上の来場者でにぎわった」と喜びました。



貴重な資料の一つ一つを学芸員が丁寧に説明

内子自治センター開館 15 周年を記念して 地域の偉人、高畑誠一の生涯と功績を顕彰

特別企画展「^{たかはたせいいち}高畑誠一の軌跡を辿る」の展示解説会が 11 月 17 日、同展示会場で行われ、町内外から 12 人が参加しました。会場には愛用したステッキや学生時代の写真や卒業論文など、貴重な資料の数々が並んでいます。参加者は学芸員の説明に耳を傾けながら、高畑氏の生涯や、その功績に思いをはせていました。企画展は 12 月 8 日まで。最終日は内子座でシンポジウムもあります。

里山の食の魅力がぎゅー—— おいしさで懐かしさを心満たす文化祭

秋の里山の味覚が楽しめる「長田食の文化祭」(長田自治会主催、太田利栄会長)が 10 月 27 日、お山の学校ながたで行われました。釜揚げうどんや団子汁などの郷土料理が提供された他、柿の詰め放題やかぼちゃの重量当てクイズなどの楽しい企画が満載。毎年来ているという来場者は「全部の料理を食べた。団子汁は懐かしい味だった。来年も楽しみ」と満足そうにほほ笑みました。



「こりゃ重い!」。ビッグなカボチャにびっくり

樹齢 1200 年の大木の下で 紅葉と銀杏を味わう「中川イチョウ祭り」

県指定天然記念物・乳出の大イチョウの紅葉を楽しむ「中川イチョウ祭り」(中川自治会主催、倉田繁盛会長)が 11 月 10 日、三島神社で開かれました。イチョウ餅や銀杏入りの山菜おこわなどを求めて、約 250 人が来場。推定樹齢 1200 年といわれる大イチョウの下で舌鼓を打ちました。倉田会長は「イチョウがまだ色づき始めだったけれど、多くの人と交流できてよかった」と喜びました。



銀杏をふんだんに使った郷土料理が大人気

100 円で買える「おいしい」「楽しい」 「内子 100 円商店街」に 3,000 人

恒例の「内子 100 円商店街」(内子まちづくり商店街協同組合)は 11 月 10 日、内子町本町商店街で開かれました。各商店の自慢の品々や、わなげや芋すくいなど子どもたちも遊べる 100 円商品がズラリと並び、多くの客でにぎわっていました。帰省中に来場した大本彩加さん＝東温市＝は「安くておいしいものがたくさんあるし、小さい子と一緒に楽しめるのがいい」と笑顔で話しました。



くじ引きで回数を決める芋すくい。3 回が出たら大当たり

愛大生が地域と協働で旧二宮邸を活用 小田の林業の歴史を伝える公開企画展

公開企画展「記憶の中の旧二宮幸巳邸」(愛媛大学社会共創学部井口梓研究室主催)が 11 月 2 ～ 4 の 3 日間、旧二宮邸で開かれました。同研究室では平成 29 年から二宮製材所の元従業員や住民への聞き取り調査などを行い、その成果の一部を展示しました。林業振興に貢献した二宮氏や森林鉄道に関する記録が紹介され、来場した約 450 人が懐かしそうに展示に見入っていました。



建物内部も一般公開され、多くの人が訪れた



うちこ「わ」まつり
フォトトリポート



6_ (五) 香ばしく焼けた小田川の天然アユ 7_ (柿) 今年もおいしく実った大瀬の柿を手に、笑顔でポーズ 8_ (石) 体を引き寄せて、竹のレールの上を仲良く滑走 9_ (石) アメノウオが泳ぐ釣り堀で、じっと当たりを待つ 10_ (う) 内子町並みエコーの皆さんが、美しい歌声を披露 11_ (う) 文化協会の力作に見入る来場者 12_ (小) 寒さも忘れて魚を追いかける 13_ (立) 祭りの開始に合わせて、半鐘を打ち鳴らす



11月3日、内子町内各地の文化祭と農業祭をつなぐ「うちこわまつり」が開かれました。
例年2日間に分けて開催されていましたが、今年は全会場が同日開催。うちこ文化祭、石畳水車まつり、立川地区文化産業祭、五十崎文化祭、大瀬農業祭柿まつり、小田の郷ふるさとまつりの6会場を、無料巡回バスで結びました。
実りの喜びを分かち合い、芸術の秋を彩る郷土色豊かな会場の様子を、写真で紹介しします。



【写真の説明】
(う) うちこ文化祭
(石) 石畳水車まつり
(立) 立川地区文化産業祭
(柿) 大瀬農業祭柿まつり
(小) 小田の郷ふるさとまつり
(五) 五十崎文化祭

5_ (五) 和太鼓集団「和達」の演奏が、会場に人の「わ」を広げる



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

12月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

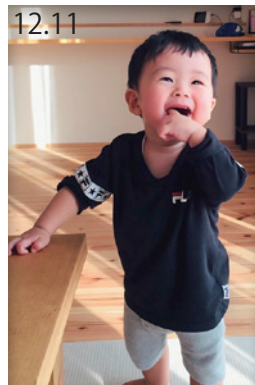
12.13



宮岡 明輝ちゃん 内子20
1歳おめでとう！たくさん食べて、お姉ちゃんといっぱい遊んでね！



青木 紗杜くん 上村
性格は天真爛漫、趣味はスクワット、いつも全力おすずちゃん！



松本 翔太郎くん 東沖
早く歩けるようになって、公園に行きたいな！

12.28



渡邊 壱星くん 内子13
ねえね大好き！ いっぱい遊ぼうね！！

12.14



大川 咲くん 内子15
毎日笑顔で元気いっぱい！ 好奇心旺盛で、なんでも味見するよ☆



INSTAGRAM みんなが見つけた／内子のいいところ「うちコト」

今回は「#うちコト」を付けて投稿してくれた中から、内子の秋を切り取った写真を2つ紹介します。

uchikoto_official
QRコードをスキャンすると簡単にアカウントを見られます。



naomipurasu2さん

小田深山溪谷で見つけた秋。紅葉の一つ一つは、小さな葉っぱなんだね。



yuyuyo12さん

龍王公園の展望台の近くにあるイチヨウ並木。地面まで黄金色に染まって、きれい。

FROM ME TO YOU



みんなであつないでリレーエッセイ



「まだまだこれから」

山岡 弘さん(51)
〓本町〓

33年前、「飲食店で働けば食いつぶされることはない」という思いで、大阪の寿司屋

に就職しました。しかし、古い習慣が残る職人の世界の修業は、大変厳しいものでした。30歳を機に帰郷を決意した矢先、真面目に修業したご褒美か、今の妻と大阪で出会い、五十崎と東京の遠距離恋愛が始まりました。12年後に結婚しましたが、当時は東京に彼女がいると言うと、友人に「お前、だまされてないか」と、よくからかわれたものでした。

五十崎に戻って十数年後、50歳という人生の節目を前に一念発起。地元の方々に喜んでもらえる店にしたいと思い、自宅を和食店に改装し、念願の独立を果たしました。開店して初めての年に、全く縁がなかった地元の秋祭りに、常連の人から誘われるまま初参加。雨の中、町内を駆け回り、翌日は体がボロボロ

になりました。翌年の秋祭りでは、50歳にして初めてのダイバンを経験。最近のダイバンは優しいですが、自分の幼いころのダイバンの怖かったこと――。私は心で謝りながら泣く子を抱き、年配の人には肩や腰をたたいて回りました。疲れしましたが、達成感と高揚感には不思議なほど心地良く残りました。そして今年、みんなが気安く「弘さん」と名前を呼んでくれたのです。それがなんだかとても居心地良く感じたのです。やっと地元が根が張れたような気がして――。でも、まだまだこれからです。葉が茂り、木陰に集える木のように、私も店もなっていきたいと思います。

▼次は、泉末晴さん〓大岡〓にお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

今月の食改さん／



宮下 琴美さん
＝内子11＝

●材料(4人分)

白菜400g／かにかまぼこ1/2本／ツナ1缶／(A)かつお節6g、いりごま大さじ2、しょうゆ大さじ1/2、ゆず1/2個、ごま油小さじ1

●作り方

- ①白菜はざく切りにして茹で、水気を絞る。
- ②ボウルに水気を絞った白菜とツナ、かにかまぼこを入れ、軽く混ぜ合わせる。
- ③(A)の調味料を加え、混ぜ合わせて、器に盛り付けたら完成。



季節の一皿
SPECIAL DISH

「白菜のおかかあえ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」12月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①貴重な櫨の染料で、すてきな染め物体験をしよう。「○○○○○●○○○○○」 in 木蠟資料館上芳我邸
- ②ぜひ応募してください。「●○○○○○○○」削減アイデアコンテスト
- ③新年のごあいさつを一堂で——。「○○●○○○○○」のご案内
- ④寒い冬に危険な「○○○●○○○」を予防しましょう
- ⑤読書活動研究集会で、「○○○○○○○●○○○○」の入賞者を表彰
- ⑥「○●○○」開館20周年を記念して、冒険家の三浦雄一郎さんが講演

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：12月31日（消印有効） 当選者発表：「広報うちこ」2月号

● 10月号当選者の皆さん

答え「ころもがえ」 正解数30

- ・宇都宮美知子さん（内子14）
- ・竹本 芳子さん（内子18第2）
- ・松田 華恋さん（内子19第1）
- ・大本 れいさん（田中）
- ・田中恵美子さん（河内5）
- ・本山 幸恵さん（鳥越）
- ・伊達 礼翔さん（上宿間）
- ・伊達喜代子さん（小田上）
- ・池田万里央さん（大洲市）
- ・木下麻莉子さん（神奈川県）

まだ食べられるのに捨てられる食品のことを「食品ロス」と言います。国内年間食品ロスは約640万トで、日本人1人当たり毎日茶碗1杯分の食品ロスが発生しています。もったいないと思いませんか。

くらしのエコロジー

食品ロス削減 アイデアコンテスト

んか。食品ロスの多くは可燃ごみとして処理するので、二酸化炭素の排出量の増加や焼却灰の埋め立てによる環境負荷にもつながります。

《アイデアコンテストを開催》
食品ロス削減に関心を持ってもらうことを目的に、「食品ロス削減アイデアコンテスト」を開催します。ぜひ応募してください。

● **募集内容** 実際の取り組みを対象とした「実践部門」と、取り組みを提案する「アイデア部門」の2部門

● **対象者** 町内在住の個人ま

たは町内の団体

● **応募期限** 2年1月31日（金）

● **応募方法** 環境政策室（本庁）、内子分庁、小田支所、各自治センターで配布している応募用紙で応募してください。ホームページからもダウンロードできます。

□ www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/10/syokuhinrosu.html

【申込・問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159
FAX0893(43)1912
✉ kankyo-seisaku@town.uchikoehime.jp

VOICE まちの声

井戸水などの水質検査について

□役場で井戸水の水質検査はできますか。（60代男性）
■役場が水道水以外で飲み水の検査を行うことはありませんが、委託する検査業者に検体を送ることはできます。専用のボトルに水を入れて役場まで持参してい

ただくなど、いくつかお願いすることがありますので、詳しくはお問い合わせください。なお、検査に係る費用は自己負担になります。

【問い合わせ】
上下水道対策班
☎0893(44)6158

さわやかハーモニーで金賞受賞

内子中学校吹奏楽部

「第67回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会」が8月2日、松山市民会館で開かれ、内子中学校吹奏楽部が中学校B部門（演奏者20人以下）で5年ぶりの金賞に輝きました。演奏した曲は、バッハ作曲の「シャコンヌ」。副部長の宮田華波さんが「練習してきたことを信じて、納得の演奏ができた。言葉にならないくらい感動した」と話すと、部長の清水未来さんは「金賞発表の瞬間、みんなと涙を流して喜びを分かち合えた」と続けます。顧問の森野好美先生は「練習から本番まで、たくさんの人たちの支えがあった。みんなでつくんだゴールドなので、感謝の気持ちでいっぱい」とほほ笑みます。

「あいさつや礼儀を大切にすることは、美しい音づくりにつながる」と語る森野先生。部員の皆さんは、日頃から自分自身や友達、物を大切にすることを心掛けているそうです。清水さんは「代々大切にしてきた思いを、今度は後輩に引き継ぐ番。これからも、爽やかなハーモニーを奏で続けてほしい」と思いを語りました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

歴史を感じた日

10月22日に執り行われた「即位礼正殿の儀」を、テレビ中継で見ました。テレビでとはいえ、日本の歴史的な日に立ち会えてうれしかったです。

私は日本学修士号を取得する過程で、日本史や歴代の天皇について学びました。でも今回は、儀式をリアルタイムで見ることができて、講義や教科書では学べない感動を味わうことができました。放送の中で「勾玉」や「天叢雲剣」、^{まがたま}「笏」、^{あめのむらくものつるぎ}「高御座」といった難しい言葉もたくさん出てきましたが、ふりがな付きの字幕を目で追いながら頑張って辞書を引いて調べました。これまで身に付けてきた知識を、さらに深めることができたと思います。

ドイツにも貴族はいますし、ヨーロッパには有名な王族もいます。しかし、2000年以上の歴史を持っているのは日本の天皇家だけ。^{あまてらすおおみかみ}天照大神から天皇へと続く神話も、外国人にとっては非常に興味深いものです。実は上皇上皇后両陛下のことはドイツ人もよく知っていますし、新たに即位された天皇皇后両陛下についても、ドイツでたびたびニュースになっています。

30年前にベルリンの壁が崩壊した時に、私はドイツの歴史の中心にいました。そして今年、「令和」という日本の新しい時代の始まりを経験できました。さて、次はどんな歴史的な日に立ち会えるのか、わくわくしています。



FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

国際交流員

ドレーン・アルント

Doreen Arndt



地域の文化祭でEnjoy!

当協会のPR活動の一環で11月3日、小田地域の「小田の郷ふるさとまつり」、大瀬地域の「大瀬農業祭柿まつり」に参加しました。

ドレーンさんやキリアンさん、サマンサさんと一緒にドイツやアイルランドの文化などを紹介した他、「英語であそぼう」などの活動の紹介や無料のフェイスペイントをしました。柿まつりでは柿のペイントが人気で、ふるさとまつりではクローバーや果物が人気でした。たくさん子どもたちが遊びに来てくれて、喜ぶ顔が見られてよかったです。協会のブースに来てくれた皆さん、ありがとうございました。



たくさんのおっぺに絵を描かせてくれてありがとう

「英語であそぼう」でLet's have fun!

10月26日、六日市自治会館でハロウィンの「英語であそぼう」を行い、16人の子どもたちが参加しました。人気だったのはトイレットペーパーを体に巻き付ける「ミイラレース」。参加したALTの先生などが英語で声を掛け、自然と英語に親む機会になりました。小学2年生の窪田京佑くんは「初めて参加したけれど、とても楽しかった」と笑顔で話してくれました。

「英語であそぼう」は1月からも開催します。バレンタインやイースターなどを、英語と一緒に楽しみましょう。

【1月からの参加者募集中】

- 対象 町内の小学生(1年生～6年生)
- 参加費 1回500円

- 募集人数 各回30人程度
- 申込方法 各回の申込期限までに電話またはメールでお申し込みの上、名前、住所、連絡先をお知らせください。



ハロウィンの「英語であそぼう」、楽しかったよー

テーマ	開催日時	場所	申込期限
冬の遊び	1月18日(土) 午前10時～11時30分	内子自治センター	1月14日(火)
バレンタイン	2月16日(日) 午前10時～11時30分	五十崎自治センター	2月10日(月)
イースター	3月15日(日) 午前10時～11時30分	小田自治センター	3月10日(火)

●読書感想文入賞者を発表
読書週間の記念行事として募集した「第14回内子町読書感想文」に64点の応募があり、下表の皆さんが入賞しました。おめでとうございませう。入賞作品は後日、「読書感想文集」にまとめ、図書館で閲覧できるようにします。ぜひご覧ください。

第14回内子町読書感想文の入賞者の皆さん(敬称略)

部門	最優秀賞	優秀賞	佳作	佳作
小学校低学年	片山 心結 (天神小2年)	阿部 真也 (石畳小1年)	大程 あさひ (大瀬小1年)	松根 椿紗 (内子小1年)
小学校中学年	今宮 跳真 (内子小4年)	尾崎 媛香 (天神小3年)	上西 真誠 (立川小3年)	源田 一花 (小田小4年)
小学校高学年	和氣 典汰 (五十崎小5年)	山下 楓葉 (小田小5年)	二宮 聖稀 (内子小6年)	柴田 陽菜 (立川小6年)
中学校	清水 未来 (内子中3年)	武知 里紗 (内子中3年)	松森 羽菜 (小田中3年)	山本 乃愛 (五十崎中3年)
高校一般	和氣 麻裕 (内子高1年)	清水 雛乃 (小田高2年)	松本 栞奈 (小田高1年)	船本 優依 (小田高3年)



表彰式に参加した受賞者の皆さん

文学講座
▽日時 12月14日(土)
午前10時～
▽内容 「意外に面白い! 今昔物語集」
▽講師 村山洋子さん

●12月企画展のご案内
《郷土が生んだ芸術家⑧》
▽高畑誠一の軌跡を辿る
※12月10日から展示します。
「おはなし会」
▽土曜日・午後2時～
12月7日 ゆりかご
14日 むしこまど
21日 むしこまど

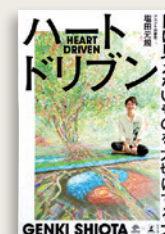
新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



「作家」と「魔女」の集まっちゃった思い出 角野栄子／著
喜びだけでなく、悲しみも人に力を与えてくれる。みんな私を作った思い出……。国民的人気作『魔女の宅急便』を生み出した著者のエッセイ集



ハートドリブン 目に見えないものを大切にする力 塩田元規／著
売上高281億円の企業、アカツキの社長が初めて明かす独自の哲学。どのように感情と向き合いながら、会社を成長させてきたのかをつづる

♥児童図書



こども六法 山崎聡一郎／作
法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて、解決するのに役立つ。盾となる法律について、イラストとやわらかい言葉で解説



みかん、好き? 魚住直子／作
ひなたは拓海の祖父が作るみかんに感動して、東京から瀬戸内海の島までやってきた。祖父と仲良くなり、一緒にみかんを育てることになって……



年末年始の業務のお知らせ

町の施設は12月28日(土)～1月5日(日)まで休みとなります。
ただし一部の施設は休みが異なりますので、ご注意ください。

業務・施設／連絡先	12/26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1/1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)	6 (月)
届け出などの受付業務(※注) ○住民課 ☎0893(44)6152 ○小田支所 ☎0892(52)3111			休	休	休	休	休	休	休	休	休	
出納業務(支払・収納) 会計課 ☎0893(44)6156			休	休	休	休	休	休	休	休	休	
町営バス・デマンドバス 総務課 ☎0893(44)6150				休	休	休	休	休	休		定休	
八日市・護国町並保存センター ☎0893(44)5212				休	休	休	休	休	休			
内子座 ☎0893(44)2840				休	休	休	休	休				
歴史民俗資料館 ☎0893(44)5220				休	休	休	休	休				
木蠟資料館「上芳我邸」 ☎0893(44)2771				休	休	休	休	休				
町並駐車場 ☎0893(44)5347				無料開放								
文化交流ヴィラ「高橋邸」 ☎0893(44)2354			休	休	休	休	休	休	休	休		
五十崎風博物館 ☎0893(44)5200				休	休	休	休	休				定休
内子町ビクターセンター「A・runze」 ☎0893(44)3790	定休			休	休	休	休	休	休			
内子町図書情報館 ☎0893(44)4198		整理日	休	休	休	休	休	休	休			定休
内子町クリーンセンター ☎0893(44)4574				定休	午後休	休	休	休	休		定休	

(※注)「死亡届」など急を要する事件は日直・宿直が受け付けます。(12月29日～1月3日は本庁のみ)
なお、内子分庁での受け付け業務はしていません。

○農林業施策のための大切な調査

「農林業センサス」にご協力ください

農林水産省が全国を一斉に調査する「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は国の農林業の実態を明らかにするもので、「農林業の国勢調査」ともいわれます。農林業施策の立案などに役立てるため、5年ごとに行う重要な統計調査です。

12月中旬から農林業を営んでいる世帯や組織へ調査員が訪問します。調査で得た情報は統計以外の目的には使用されませんので、ご協力ください。

●調査期間 12月15日～2年2月28日

●対象 農林業を営む全ての世帯(集落営農含む)および法人
●調査内容 県知事から任命された調査員が訪問します。経営状況について聞き取り調査を行い、一定規模以上の経営を営む場合は、調査票への回答もお願いします。
※調査員は顔写真付きの調査員証を携帯しています。不安を感じた場合は係へお問い合わせください。

【問い合わせ】
総務課政策調整班 統計係
☎0893(44)6151

○新年のごあいさつを一堂で

「年賀交歓会」のご案内

2020年の新春とともに喜ぶ年賀交歓会を開催します。町内に住む人ならどなたでも参加できます。参加を希望する人は、ぜひお申し込みください。地酒を提供しますので、車の来場はご遠慮ください。

●日時 2年1月6日(月)
午前11時～

●場所 内子町共生館
●会費 1000円(当日、受付で集金します)
●申込方法 電話でお申し込みください。
●申込期限 12月13日(金)
【申込・問い合わせ】
総務課 庶務係
☎0893(44)6150

コラム*ねんきん瓦版

「早割」なら毎月50円のお得 国民年金保険料は便利な口座振替で

《口座振替の早割・前納なら保険料を割引》

国民年金保険料の納付期限は翌月末ですが、先に口座振替などで支払う「早割」や「前納」をすることで、保険料が割引されます。

《口座振替の手続き方法》

口座振替を行う口座がある金融機関で、手続きができます。「口座振替申出書」に必要事項を記入の上、金融機関の届出印を押して提出してください。

※「前納」は納付書払いもできます。詳しくは年金事務所にお問い合わせください。

【問い合わせ】

○松山西年金事務所
☎089(925)5105
○住民課 国民年金係
☎0893(44)6152

■申込期限と元年度の割引額

種 類	1ヵ月「早割」		6ヵ月「前納」		1年「前納」		2年「前納」	
	保険料額	(割引額)	保険料額	(割引額)	保険料額	(割引額)	保険料額	(割引額)
口座振替	16,360円	(50円)	97,340円	(1,120円)	192,790円	(4,130円)	379,640円	(15,760円)
申込期限	随時提出可能		(上期) 2月末日		2月末日			
			(下期) 8月末日					
引落日	当月末日		(上期) 4月末日		4月末日			
			(下期) 10月末日					

※引落日が土・日・祝日の場合は、翌営業日に引き落とされます。



令和2年度の保育園・幼稚園 園児募集

入園を希望する保護者は、期日までにお申し込みください。在園している園児も、引き続き入園を希望する場合は手続きが必要です。

《入園手続きなどについて》

●手続き方法

▷希望する園に「入園申込書」「認定申請書」を、児童1人につき1枚、提出してください。

※石畳へき地保育園を除く保育園、認定こども園の保育園機能部分を利用する場合は「就労証明書」または就労状況確認書、申立書のいずれかが必要です。

●申込書の入手

用紙は各受付場所にあります。内子町のホームページからもダウンロードできます。

☞ <https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/6/2hoikuenboshu.html>

●受付場所

▷幼稚園 各幼稚園

▷保育園・認定こども園 各保育園、保健福祉課、内子総合窓口センター（内子分庁内）、小田支所

●申込期限 12月20日（金）

《入園資格などについて》

●入園資格

▷保育園・認定こども園（保育園機能部分）

就労や求職、出産、病気などの事情で保護者が保育できないこと

※石畳へき地保育園は、保護者が地区内に住居している場合のみ入園可。

▷幼稚園・認定こども園（幼稚園機能部分）

平成26年4月2日から29年4月1日生まれの子

●対象区域

▷内子幼稚園・立川幼稚園 内子地区または五十崎地区に在住する児童

▷小田幼稚園 小田地区に在住する児童

●その他 民営の保育園も、入園の手続き、保育料の決定・徴収は内子町が行います。

※詳細は内子町のホームページでご確認ください。

《各園の定員と開園時間》

保育園

●募集保育園／定員／開園時間

募集保育園	定員	開園時間
内子保育園	80人	午前7時～午後7時
五城保育園	60人	午前7時30分～午後6時30分
大瀬保育園	50人	午前7時～午後6時
くろみ保育園	80人	午前7時～午後6時
石畳へき地保育園	30人	午前8時～午後4時

認定こども園

●募集園／定員／開園時間

募集園	定員	開園時間
幼保連携型認定こども園（仮）	130人	午前7時30分～午後6時30分

※幼保連携型認定こども園（仮）は、こばと保育園と五十崎幼稚園が統合し、現在の場所で運営します。

幼稚園

●募集幼稚園と対象区域

募集幼稚園	定員	開園時間
内子幼稚園	140 人	午前 8 時 ～午後 2 時
立川幼稚園	70 人	
小田幼稚園		

【問い合わせ】

◎保育園・認定こども園

保健福祉課 児童福祉係

☎0893(44)6154

◎幼稚園

内子町教育委員会（内子分庁内）

学校教育課 発達支援センター

☎0893(23)9255



Information

町からのお知らせ

○内子・五十崎地区の農家の皆さんへ 農業用廃プラスチックを回収します

不要になった農業用のビニールシートなどを回収します。搬出物はリサイクルします。適正な処分にご協力ください。

●回収日 12月17日（火）午前8時30分～11時30分

●回収場所 愛媛たいき農協五十崎支所駐車場

●搬出方法 1しめ当たり10⁵程度とし、次の3種類に分別してください。

①塩化ビニール ②ポリエチ

レンフィルム ③その他

●注意事項

▽回収時に口頭で確認するので、あらかじめ運搬する廃棄物の種類と量、購入元を確認して搬出してください。

▽運搬する車両に「廃棄物収集車」と表示してください。

【問い合わせ】

産業振興課 農村支援センター（内子分庁内）

☎0893(44)2199

○学校生活を支援する「就学援助制度」

経済的な理由で、子どもを小学校や中学校に通わせることが困難な保護者に対し、給食費や学用品費など学校生活に必要な経費の一部を援助します。

2年度の小・中学校入学予定者が、入学に必要な「新入学学用品費」については、3月に支給が可能です。希望する人はご相談ください。

●対象 経済的理由で困っている保護者で、教育委員会が援助を必要と認める人

※児童扶養手当の受給者など、生活保護世帯に準ずる程度に困窮している人が対象です。ただし、申請しても認定されない場合があります。

●申請方法 お子さんが在学、または入学する学校にご相談ください。

【問い合わせ】

◎お子さんが在学（入学）する学校

◎学校教育課発達支援センター（内子分庁内）

☎0893(23)9255

hajizome

櫨染 ストールづくり in 木蠟資料館上芳我邸

かつて内子に繁栄をもたらした木蠟の原料・櫨を使って、櫨染のストールを作ります。

櫨と木蠟の歴史を学びながら、古くから「富と幸せをもたらす」と愛されてきた色を染め出してみませんか。

●日時 2年1月19日（日）午前10時～正午

●場所 木蠟資料館上芳我邸

●参加費

▷綿ストール 4,000円

▷ウールストール 5,000円

●定員 6人

※先着順です。電話でお申し込みください。

【申込・問い合わせ】

八日市・護国町並保存センター

☎0893(44)5212



上_櫨染の材料は調達が難しいため、貴重な体験。8月の会では「きれいに染まる」と好評だった 下_出来上がった櫨染のストール

催し

文化講座「気軽にコミュニケーション・カレッジin内子」

●日時 12月19日(木)
午後7時～

●場所 内子自治センター

●テーマ 「今すぐ実践『コミュニケーション能力』を磨いて円滑な人間関係を」

●講師 園田雅江さん(愛媛大学 准教授)

●内容 コミュニケーションは人間関係の潤滑油。ワークシヨップなどで、その能力を磨く

●対象 高校生以上

●受講料 500円(高校生は無料)

●主催 愛媛大学社会共創学部他

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課(内子分庁内)

☎0893(44)2114

うちこ福祉館の行事案内

《わいわい喫茶》

●日時 2年1月6日(月)
午後1時～4時30分

●場所 うちこ福祉館
●参加料 無料

【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館
☎0893(44)3410

豊かな感性に触れてみて「障がい者芸術文化祭」

「障がい者芸術文化祭」愛媛ひろがるえひめの障がい者アート展」を行います。県内に住む障がいのある人が制作した、絵画や書などを展示します。

●開催期間 12月5日(木)～14日(土)

●開館時間 午前9時40分～午後6時(入場は午後5時30分)

●場所 愛媛県美術館(松山市)

【問い合わせ】

愛媛県障がい福祉課 障がい支援係

☎089(912)2424



▶展覧会のチラシ。約270点のアート作品を展示

お知らせ

悩みを抱え込まないで「みんなの人権110番」

12月4～10日は人権週間です。

松山地方事務局と愛媛県人権擁護委員連合会は、「みんなで築こう人権の世紀」考えよう相手の気持ち／未来へつなげよう違いを認め合う心」を重点目標に、啓発活動をしています。

この機会に、人権意識を高め、個々の違いを認め合う心を育てましょう。

人権問題で悩みがある人は、「みんなの人権110番」までご相談ください。

●みんなの人権110番

☎0570(003)110

【問い合わせ】

松山地方事務局 人権擁護課
☎089(932)0888

冬場の必需品「暖房器具」安全な使い方を再確認

寒くなると暖房器具による火災や事故が多くなります。本格的な冬が始まる前に、安全な使い方ができているか次のチェック

- 給油は火を消して行う
- 給油キャップはしっかりと締める
- 就寝時や外出時は、暖房器具のスイッチを切る
- ストーブやファンヒーターの近くで洗濯物を乾かさない
- 壁やカーテン、燃えやすいものの近くで暖房器具を使用しない

【問い合わせ】

内子消防署
☎0893(43)0119

運転手つきバスの手配は適正なバス会社を利用

レンタカー事業者がマイクロバスなどを運転手つきで提供するの、白バスと呼ばれる法律に違反したサービスです。

違法な白バスを利用して事故にあった場合、適切な損害賠償がなされず、損害額を利用者が負担しなければならないことがあります。運転手つきバスの手配は、許可を受けたバス会社で行い、緑ナンバーがついたバスを利用しましょう。

【問い合わせ】

四国運輸局愛媛運輸支局
☎089(956)1563

ロゴマークを使用して「まじめえひめ」をPR

まじめえひめのロゴマークを無償で利用できるようになりました。使用する場合は事前に申請が必要です。



右：まじめみきゃん
左：愛媛県統一コンセプトロゴマーク

いちげ温泉展

「いちげ温泉」は内子町でデザイナーとして活躍している市毛友一郎さんを中心とした作家集団です。内子町をデザインやイラスト、マンガなどで表現した作品を展示します。

- 期間 12月15日(日)～25日(水)
- 時間 午前9時～午後4時30分
- 場所 内子町ビジターセンター
- 入場料 無料
- 後援 内子町

【問い合わせ】

メルカドデザイン(市毛)
☎090(6498)1589

愛媛県大洲庁舎は仮庁舎へ移転します

愛媛県大洲庁舎の建替えのため、2年1月14日から仮庁舎で業務を行います。

●仮庁舎での業務期間 2年1月14日(火)～3年7月(予定)

●移転先 旧DCMダイキ大洲店(大洲市東大洲174番地)

【問い合わせ】

大洲土木事務所
☎0893(24)5121

世界中に友達をつくらう「春休み海外研修交流事業」

国際青少年研修協会では、オーストラリアやニュージーランド、フィリピンなど、8カ国・10コースの参加者を募集しています。

●日程 2年3月25日(水)～



クリスマス夜の「いかざき冬花火」を楽しもう

- 開催日 12月24日(火)
- 打ち上げ開始 午後8時～
- ※雨天時は25日(水)
- 場所 豊秋河原
- 【主催・問い合わせ】 五十崎商工会連盟(担当・亀岡)
- ☎090(8697)0770

自宅で学べる放送大学新規入学生を募集

放送大学では、2年4月入学生を募集しています。

テレビなどの放送やインターネットで学ぶ通信制の大学で、心理学・福祉・経済・歴史などの科目があり、1科目から学べます。

※詳しい資料を無料で配布します。気軽に請求ください。

●出願期限 2年3月17日(火)

【問い合わせ・資料請求】

放送大学愛媛学習センター
☎089(923)8544

●たかさご

寺尾 進

藤井 莉咲

山内 大輔

菅井 香波

●うぶごえ —♣️男の子❤️女の子—

♣️高松 弥也 (克明 渚) 内子13

❤️藤谷 陽菜 (陽平 直子) 内子13

❤️鷹野 友愛 (友紀 静穂) 田中

♣️山田 佑心 (史郎 麻里子) 石畳9

❤️松本 莉穂 (亘 佐英子) 平野

●おくやみ

岩井 民子 (91) 内子2

越智 高明 (92) 内子8

曾根 和子 (69) 内子10

矢野比佐司 (77) 内子11

川本 道義 (89) 宿茂

堺 健征 (72) 北深

仲岡 宏 (81) 本町2

中塚キヨ子 (64) 本町2

玉川市太郎 (92) 池田

二宮 利明 (76) 上町

北福 幸雄 (91) 新川町

久保マスヨ (99) 八代

木下 節美 (75) 平野

中田やよい (69) 岡第2

宮岡ミチ子 (90) 上宿間

智葉 定夫 (75) 田ノ口

大塚 雅教 (85) 宮原

上田 文榮 (98) 小田下

中窪 勝則 (72) 大平

山田 正春 (92) 吉野川

●まちの人口

(元年11月1日現在／() 内は前月比)

・人口 16,400 人 (△24)

男性 7,886 人 (△13)

女性 8,514 人 (△11)

・世帯数 7,120 戸 (△1)

●まごころ銀行 皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。 内子町社会福祉協議会

河崎 司様 (内子5)

曾根 三代様 (内子10)

仲岡 康典様 (本町2)

池田 一義様 (河内5)

北福 章弘様 (新川町)

1月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：16(木)・30(木)の午前10時～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925)5110

●行政相談

日時：7(火)の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／林業センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：7(火)の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(水)	亀井小児科(大洲市)	0893(24)3757
2(木)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
3(金)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117
5(日)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770
12(日)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710
13(月)	山下小児科(西予市)	0894(62)6801
19(日)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23)0510
26(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	加戸病院	0893(44)5500
木	日中：大洲記念病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(25)2022 0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(24)4551 0894(22)3211

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後8時～11時(平日、土・日曜日)

※大洲喜多休日夜間急患センターの年末年始(12月30日～1月3日)は午前9時～午後6時です。

お元気ですか



冬場の風呂で多発、危険なヒートショックを予防しよう

●温度の急な変化が原因

ヒートショックとは温度差によって血圧の急激な上下変動が起こり、体に悪影響を与えることをいいます。心筋梗塞や脳梗塞など、命に関わる病気を引き起こすので注意が必要です。

●風呂場やトイレで起こりやすい

入浴時や、布団の中から出てトイレに行くときなど、寒い場所と暖かい場所の温度差が大きくなると起こりやすくなります。失神を起こし、転倒して頭を打ったり、浴槽内で溺れたりする危険性

があります。

●高齢者や持病のある人は要注意

ヒートショックを起こしやすいのは、高齢者や心臓に持病がある人、高血圧の人などです。高齢や持病によって血管がもろくなっていると、血圧の変動による影響を受けやすくなります。

ヒートショックを起こさないためには、家族や周りの人、みんなで予防する意識を持つことが大切です。入浴時は次の8つのポイントに注意して、これからの寒い冬を安全に過ごしましょう。

ヒートショックを予防する8つのポイント

POINT 1 入浴前に
脱衣所や浴室を温める



POINT 2 湯船の温度は41度以下にする



POINT 3 湯船に入る前に、かけ湯をする



POINT 4 湯船に漬かる時間は10分以内にする



POINT 5 入浴中はゆっくり動く



POINT 6 入浴の前後に、水分補給をする



POINT 7 入浴の前後に、家族に一言声を掛ける

お風呂入ります



POINT 8 食事や飲酒の直後は入浴を控える



※日本気象協会では、市町村別の「ヒートショック予報」をホームページで毎日掲載しています。危険度を把握する指標として、日々の参考にしてください。 ☎https://tenki.jp/heatshock/

1月の健康カレンダー

●母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
9(木)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
10(金)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
14(火)		内子保健センター	

離乳食教室

日	実施時間	場所	対象
15(水)	午前9時30分～正午	内子保健センター	令和元年8月生まれ

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
16(木)	午後1時～1時15分	内子保健センター	平成31年4月、令和元年5月生まれ

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
23(木)	午前9時30分～10時	内子保健センター	平成29年10月・11月生まれ

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第
125
回



◎町並保存地区にある工房で作業をする2人。手にしているのが納品した竹箱

大仕事に最高の技術で応える職人 大嘗宮で使用された竹箱を共同制作

武智 壽夫さん、秋山 登紀子さん(武工房) = 城廻 =

竹細工職人の武智さんと秋山さん。皇位継承に伴う重要祭祀「大嘗祭」で使われる竹箱を、宮内庁に納品しました。

武智さんは58歳で仕事を辞め、京都伝統工芸大学で竹工芸を学びました。秋山さんは同大学の1年後輩で、4年前から武智さんの工房で働いています。以前は東北地方の職人が納品していました。が、作れる人がいなくなり、宮城県で修行していた秋山さんに白羽の矢が立ちました。秋山さんは「私は細い竹でザルを作るのが専門。箱物は作らない。武智さんがいるから作れた」と言う。武智さんは「高い技術のいる仕事だった。二人の得意分野で初めて共同したが、試行錯誤の繰り返し。何度も編み直して、6つの箱を作るのに3カ月掛かった。間に合ってよかった」と頬を緩めます。

「いい機会をいただき、互いの技術向上につながった」と2人。普段、武智さんは真竹専門で、秋山さんが使う細い苦竹は使いません。「質感が違い、いろいろな発想が浮かんだ。内子の苦竹は良質なので新しい作品に挑戦したい」と武智さん。秋山さんは「武智さんは研究熱心で、その姿に感心する」とにっこり。今後、共同で作品作りをするか尋ねると「もう無いかも」と声をそろえて笑いました。

編集 幸記

▽小田高校の取材は楽しかったです。黒板アートや生徒全員の写真撮影など、無理なお願いに全力協力していただきました。生徒たちも明るく素直で、しっかりしています。40歳越えのおじさんが高校生に何度も泣かされそうになりました(裕)▽11月は、文化や芸術に関する行事がめじろ押しでした。取材を通して文化の秋に浸っていると、あつという間に12月。忘年会シーズンに突入です。食べて飲んでパーツとやって、新年を気持ちよく迎えたいものです(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

